

経というのはもちろん「歯の中」にあるものなのですが、一度とってしまふと再生しません。もちろん、歯自身の痛みはなくなるのですが、歯を取り囲んでいる神経がなくなるわけではないので、「歯の痛みがまったくなくなる」わけではありません（ここが誤解の多いところ）。

さて、歯の神経を抜くことの弊害として「歯の寿命が短くなる」と言われています。一説に十年とも。と言っても人間の歯で実験できないので正確なデータは出せませんが、トラブルが多くなることは実感として分かります。例えば、歯の根っこが割れてしまったり、周りから膿が出たり。やっぱり自分の歯の神経はしっかり残しておいた方が良さそうです。



ちなみに僕が大学卒業したての頃、ベテランの先生の下でアルバイトをしていました。当時から「歯はできるだけ削らない」と思っていたのですが、ある患者さんの治療後、その先生に呼ばれて「むし歯が深かったんだから予防として神経を抜かないとダメだ！患者さんに痛みが出たらどうするんだ！」と怒られました。患者さんのことを考えていることには違いないのですが、新人の僕としても納得できない出来事でした。もちろん、その後痛みなどなかったようです。まあ、あの体験があつて「ふれあい歯科ごとう」があるのですが。

### 教養広場

恒例となりました教養広場（第七回）を以下の要領で開催いたします。間違いなく「オイシイ」企画ですから

少しでもご興味あればぜひご参加ください。講師の田畑先生は、ZPO法人・



生と死を考える会の理事長でもあり、高名な方ですが、とても気さくな方です。内容は決して難しくなく、知的好奇心をくすぐられる話を聞けると思います。もちろん講義の後はアルコールを入れながら楽しいひと時を送りましょう。なお、少人数限定企画です。からご参加希望者はお早めにお知らせください。

講師 田畑 邦治先生

（白百合女子大学教授・哲学）

テーマ 身体の哲学 入門

日時 3月31日（金） 19:00

会費 1000円くらい（飲食代）